

第 2 回和泉デイサービスセンター運営推進会議 会議録

事業所名	和泉デイサービスセンター わくわく館
開催日時	平成 29 年 4 月 17 日 (月) 14 時 00 分～15 時 30 分
開催場所	和泉デイサービスセンター わくわく館 会議室
参加者	利用者家族 2 名 和泉自治会会長 1 名 和泉民生委員児童委員協議会主任児童委員 1 名 介護支援専門員 1 名 大野市民生環境部健康長寿福祉課補佐 1 名 大野市社会福祉協議会事務局 2 名 事業所職員 2 名
議題	① 運営状況について ② 利用者の状況について ③ デイサービスの状況について ④ 転倒などの事故について ⑤ 苦情、要望などについて ⑥ 非常災害時の対応について ⑦ その他
会議録	

【運営状況について】

平成 28 年度収入 3,016 万円、支出 2,403 万円差し引き 613 万円、これに比べ平成 27 年度は収入 2,648 万円、支出 2,358 万で差し引き 263 万円でした。運営状況について登録者 28 人、うち男性 4 人、女性 24 人、平均介護度 1.9 となりました。1 日の平均利用者数は 11.4 人となり、これは去年度よりも大幅に増えています。平成 28 年度の稼働日数は 254 日。(2 月 7 日から 2 月 9 日まではインフルエンザのため休館)で、10 月からは定員を 15 人から 18 人に変更しました。

【デイサービスの状況について】

デイサービスの行事内容等に大きな変化はありませんが、筋力低下を予防するために体操などを多く取り入れていました。

【転倒などの事故について】

28 年度後期の転倒などの事故はありませんでした。

【苦情、要望等について】

28 年度後期の苦情はありませんでしたか、29 年度 4 月に苦情がありました。職員の対応に関する苦情で、管理者が謝罪に出向きました。

【非常災害時の対応について】

施設では年に 1 回は避難訓練実施計画書を消防署へ提出し、1 回目は自主訓練、2 回目は総合訓練(和泉地域福祉センター、和泉保育園との合同避難訓練を 10 月 19 日に実施しました)

【その他】

～サービスに対する要望、助言等について～

非常災害時の避難経路、避難場所はどこになっているのか。

→ボイラー室などから火が出た場合は玄関、調理室から火が出た場合は和泉地域福祉センターへの避難経路としています。

災害時(熊本など)の対応を参考にするのはどうか。

→デイサービスセンターでは地域の人に災害時に助けの協力を求めたりするようにしています。熊本の災害時の対応を参考にしベッドの上に乗せて大人数を運ぶ避難方法なども、今後検討し避難訓練で実施していきたいと思います。

悪天候時には早めにデイサービスの休館を検討してほしい。

災害時の職員人数はどうなっているのか。定員が 18 人で職員が 4 人しかいないのでは不十分ではないだろうか。

→オフトークを使用し、災害時に人を募る方法を検討して行く。

デイサービスの古い設備を新しくしたりしないでもいいのか。

→デイサービスは平成 11 年にでき、18 年経過しました。今後設備の拡充も検討していきますが最低でも現状維持を目標としています